

令和4年度 前期学校関係者評価書

南アルプス市立南湖小学校

前期学校関係者評価委員会【書面開催】

1 実施日 令和4年9月1日（木） 書面提案

2 評価者 学校関係者評価委員
望月 光長
箭内 潤一
小田切 雅裕
野田 正貴
望月 秀幸
学校職員
川手 昌英（校長）
齊藤 千代美（教頭）

3 学校から提案された内容（書面）

- ①教職員・保護者・児童のアンケート結果（教頭）
- ②前期学校評価の分析（教頭）

4 分析の結果、特に課題であった2点に対する「ご意見・アドバイス」など

①「計画的な家庭学習」、「家庭でのスマホのルールづくり」について

- ・生徒の37%がスマートフォンや携帯を持っているとは驚きです。家庭学習に問題があることの原因の一つは、保護者自身が端末機（ケータイ、パソコン）でゲームや動画を時間に関係なく使用しているのをよく見ます。これではよい結果は出ないと思います。まず各家庭で端末機等の使用扱いルールをつくるのが良いのでは。あいさつは、まず家庭で教えること、親を見て習うこと。
- ・現在の家庭環境は、夫婦共稼ぎ家庭が増え、学童保育や祖父母による世話、兄弟姉妹だけによる留守番等、多種多様化している現状では一つのルールでは対応できないと思います。また、家庭教育に対して無関心の親もいるという話も聞きます。親が家庭学習に対して関心を持つ取組として、チェック、サイン等や日々のスケジュール表の作成と確認を教員と家庭で行うなどが考えられます。教員の負担が増えるかもしれませんが。
- ・特効薬はないと思うので、現状学校で取り組んでいることを粘り強く続けることだと思います。その中で、課題を持つ児童、家庭には個別指導をさりげなくやってみたらいかがでしょうか。また、先行事例を小中連携協議会等で研究する中で、甲西地区として独自の取組・システムを立ち上げることは可能でしょうか。職員にとって負担増になってしまえば、ヤブヘビですが。
- ・計画的な家庭学習について、児童は60%、保護者、教職員はそれぞれ22%、19%と大きく異なっています。その違いはどのような原因があるのでしょうか。子供たちはやっていると思っているようですが。
ネットのルールについても、児童は自分でルールをつくって行っているようですが、子供と保護者、教職員の理解が大事ではないでしょうか。便利さと危うさの両方について、専門家の話を聞くことも大切でしょう。
- ・家庭内で子供と向き合い、家のルールを決めて真剣に話し合いをしたらよいと思います。

②「職員の働き方について」

- ・私もサラリーマン生活をしていたとき、夜の12時頃まで残業をして、帰宅するのが週に1、2回ぐらいありました。その姿を上司が見て、「お前は能力がない、努力が足りない」とか言われました。昔の話です。今は違います。教職員のみなさんは熱心に多くの仕事に取り組んでいると思います。『健康が一番』。健康でなければ、良い考えは浮かばないのでは。
- ・全教職員で負担と感じている仕事（業務）を洗い出してみてもうどうでしょうか。中には、共通項目が出てくるのでは。問題点を共有化することにより、解決方法が見つかるかもしれません。問題点の中には得意とする人、不得意とする人がいると思いますので、お互いで補い合えば解決することもあるのでは。共通項目の中には、不要な業務も出てくるかもしれません。
- ・負担増となっている業務をまずは洗い出し、精査することです。学校は内外様々な関係で業務が雪だるま式に膨張しがちです。スクラップとビルドの精神を持たなければなりません。今、社会をあげて「教職員の働き方」が注目されていますので、この機会を生かし、「学校が本来行うべき指導」を整理して、教職員の仕事を魅力あるものにしてもらいたいものです。（教員の仕事はブラック、なり手減少、不足・・・イメージ一新したいですね。）
- ・夜10時ごろに小学校の前を通ると、職員室に電気がついていることがあります。教科の増えたことによるかもしれませんが、先生の心身の健康が大切です。コロナ禍で大変ですが、無理をしないでいただきたい。ギガスクールを導入して、先生方の仕事が増えてしまってもなりません。具体的な解決策を見つけるのは難しいと思いました。
- ・教職員の負担は本当に大変だと思います。減らせるものはもう少しまとめて運営をしたらいんじゃないかと思います。

③その他の感想・御意見

- ・農業ボランティアに対し、教職員の皆様の御協力に感謝いたします。子供たちも笑顔で作業しております。食の大切さを教えましょう。
- ・最近、自転車に乗る子供たちが増えていますが、ヘルメットの着用が減っております。

令和4年度 前期学校評価委員会は、書面提案をもって、開催にかえます。いただいた御意見・アドバイスにつきましては、ほぼ原文のまま載せさせていただきました。貴重な御意見、ありがとうございました。これらの御意見をもとに今後学校として、家庭と連携しながら、家庭学習の習慣化や家庭でのスマホ等のルールづくりに取り組むとともに、教職員の働き方を改善し児童へのより良い指導につながるようさらに取り組んでいきたいと思っております。

令和4年9月

評価書作成責任者

事務局 学校職員

齊藤 千代美